

いよいよ2018春季生活闘争の議論がスタートしました。すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」には月例賃金の引き上げが不可欠です。とりわけ、日本の雇用労働者の約7割が働く中小企業における賃上げは極めて重要です。しかし、さまざまな問題から大企業と中小企業とでは大きな賃金格差が存在しています。今回はその「企業規模間賃金格差の実態」をクローズアップします!

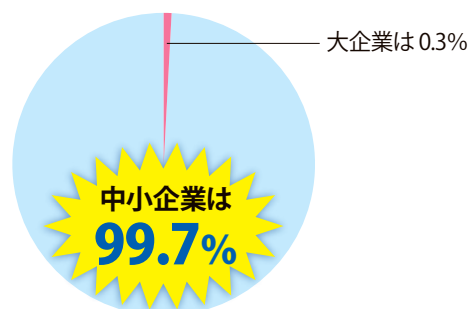


企業規模間の “賃金格差の実態”を クローズアップ

企業規模により賃金 水準にはこんなに差が
年齢が上がるごとに、その差は拡大していく

日本企業の99.7%は中小企業!

■ 企業数



■ 雇用者数

中小企業7割 大企業3割

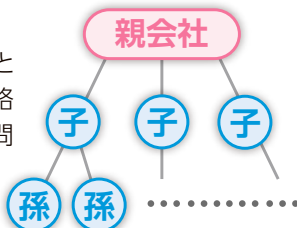
日本の企業の99.7%は中小企業で、働く人の7割は中小企業で働いています。日本経済の発展には、“中小企業”が元気になることが、重要なのです!

【出典】中小企業庁「2017年版中小企業白書」

企業規模間賃金格差の例

構造的な問題があるから!

大企業の下請けとなること
が多い中小企業。賃金格
差の一因はこうした構造問
題にあります。



労働組合がある企業が少ないから!

労働組合があれば、会社と対等な立場での交渉が
可能です。

■ 企業規模別 (民営企業)
労働組合推定組織率

企業規模	推定組織率
1,000人以上	44.3%
100~999人	12.2%
0~99人	0.9%

【出典】厚生労働省「平成28年労働組合基礎調査」

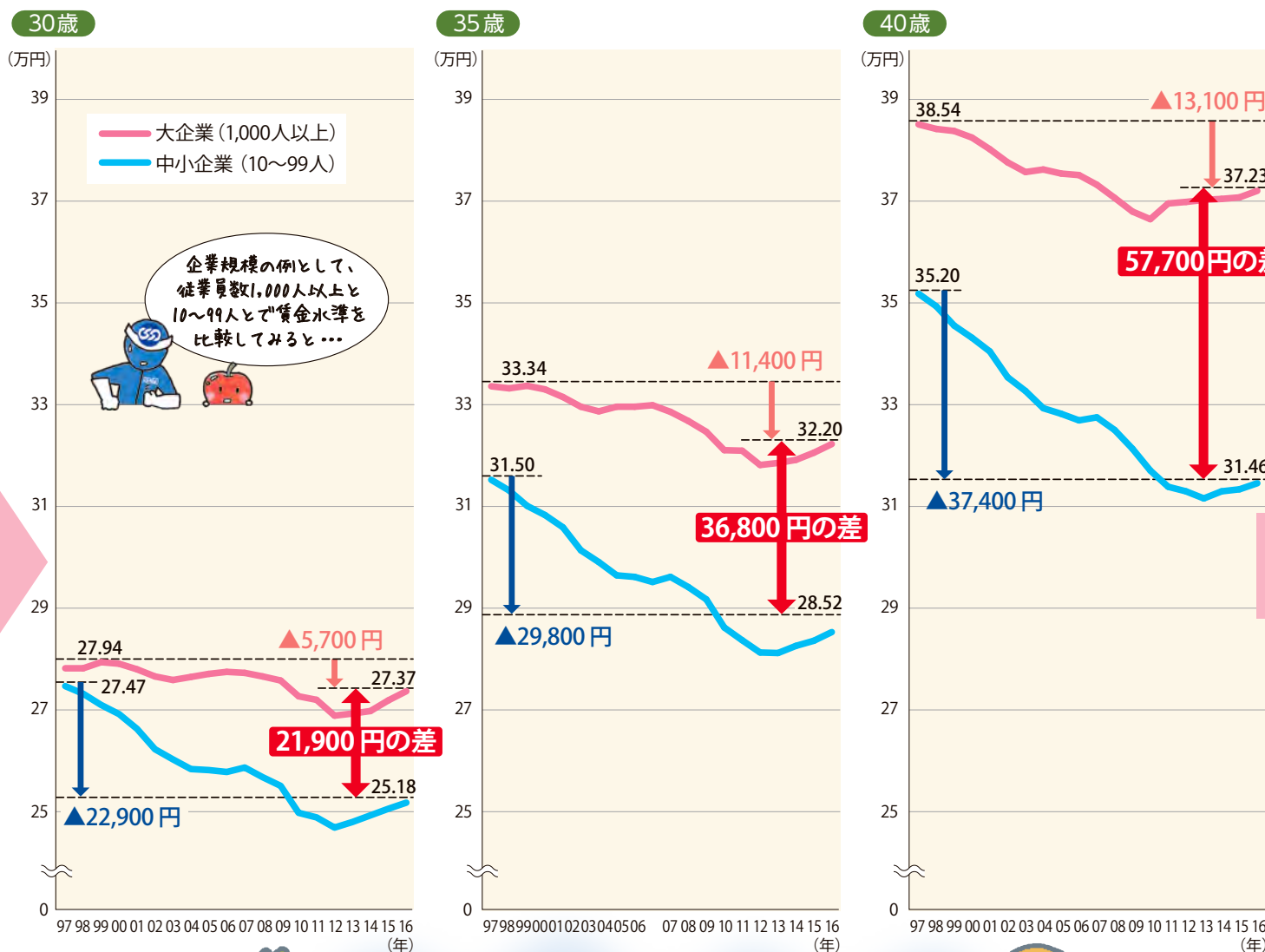
100人未満の企業だと、
たった0.9%しか
ないのか...



こんなに
差が...



■ 標準労働者 (高卒男性) 所定内賃金の推移 (注) 3年移動平均



仕事の
モチベーション
下がるなあ...



約6万円も
大企業との
給料の差が。



【出典】厚生労働省
「賃金構造基本統計調査」を
元にグラフは編集部にて作成



(監修: 連合 労働条件・中小労働対策局)

企業規模間賃金格差の是正に向けて

賃金格差の是正には処遇改善の原資確保が必要!

2017 春季生活闘争の取り組み

大手追随・大手準拠
などの構造の転換

サプライチェーン
全体で生み出した
付加価値の適正分配

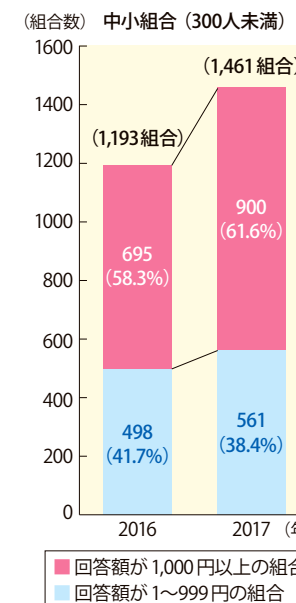
の運動を前進させることに重点を置き、格差是正の必要性を訴えてきました。

● 2017春季生活闘争の結果

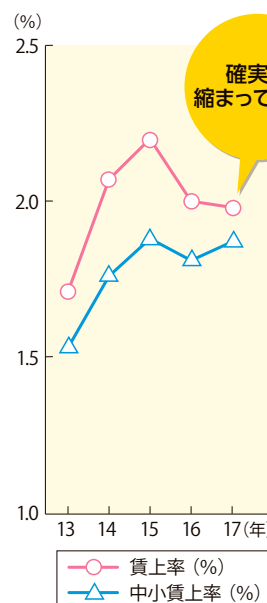
300人未満の中小組合の多くで、「賃上げ分」の「金額」が昨年を超えると同時に「率」では大手を上回るなど、格差是正に向けた一歩となる結果を引き出しました。

■ 2017春季生活闘争結果

● 賃上げ (ベア分) 回答の構成比
(対前年比較)



● 平均賃金方式での
賃上げ状況の推移



2018 春季生活闘争に向けて

● 引き続き「構造転換」「付加価値の適正分配」の流れを継続・定着・前進させる取り組みを進めていきます。

● 地場の中小企業で働く人たち、非正規雇用で働く人たち、労働組合のない職場で働く人たちなど、すべての働く人の「底上げ・底支え」「格差是正」により光を当てた取り組みを強化します。

このページは連合HPでも配信中! 機関紙等にご活用ください。